

1. 科目名 (単位数)	専門演習 (2 単位)	3. 科目番号	EDOT4198
2. 授業担当教員	チームティーチング		
4. 授業形態	演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	3 年間履修してきたことを基礎として、選択することが望ましい。		
7. 講義概要	授業の概要は、各教員がすでに示している内容による。		
8. 学習目標	最終学年としてこれまでの授業や実習等で学んだことをもとに、各自が理論的あるいは実践的な課題を設定して担当教員の指導も受けながら自主的、主体的に取り組みその成果をまとめる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	各担当教員による。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 各担当教員の指示による。 【参考書】 各担当教員の指示による。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	各担当教員が示す。		
12. 受講生へのメッセージ	最終学年として大学生活を締めくくることが自覚して授業に取り組むこと。		
13. オフィスアワー	各担当教員が設定する。		
14. 授業展開及び授業内容			
0 1	安次嶺 降幸		
<p>「将棋の教育的意義」から紐解く【現代の子ども達の課題、研究】 ～小学校教師として、子ども達の前に立つために必要な事～教育観を育てる～ 文部科学省が「伝統文化の教育の充実」を重点事項としたことも手伝い、近年「教育の不易と流行」というキーワードをよく耳にするようになりました。教育における「流行」とは、時代の流れに沿い、科学技術や国際化に柔軟に対応していく力を付けること、「不易」とは自国の歴史や伝統を通じて、知・徳・体の調和の取れた子どもを育成していくことです。「教育の不易流行」とは、この両方のバランスをうまく考えていくことにあります。</p> <p>それと同時に、今子ども達のなかで将棋が大ブームになっています。それは何故か。 「不易と流行」と子ども達の現状を探りながら、自分が教師として、子ども達の前に立つ前に積み重ねていかなくてはならない【教育観】について考え、それを育てていく演習となります。</p> <p>開講曜日・時間 (基本：木曜 3 限を予定) は相談の上、決めます。</p>			
0 2	面川 幸子		
<p>養護教諭は、職務の特色や保健室機能を十分生かし、児童生徒の様々な訴えに対して、常に心的な要因や背景を念頭に置いて、心身の観察、問題の背景分析、解決のための支援、関係者との連携など心と体の両面への対応を行うことや学校保健活動の推進に当たって中核的な役割を果たし、現代的な健康課題の解決に向けて重要な責務を担っています。健康課題の対応にあたりコーディネーターの役割もあり、チーム学校における役割は大きいのです。このように、養護教諭は、学校におけるすべての教育活動を通して、児童生徒等の支援を行う専門的な教育職で有り大変重要な仕事です。</p> <p>このことから、養護教諭としての教育実践に役立つ、関心のある課題を具体的に各自で設定し、研究構想を立て、関係論文や書籍を文献研究し、考察をまとめ、発表します。また、場面等を含めた実践を取り入れる場合もあるので、発表を通して、ディスカッションを行い、養護教諭像を深めていきます。なお、受講者は養護教諭一種免許取得予定者であることが望ましいです。</p>			
0 3	澤田 晋一		
<p>テーマ：暑熱環境と健康に関する調査研究 近年の地球温暖化の進行は夏季に猛暑日を頻発させ、職場、地域、家庭のみならず、学校やスポーツ現場等においても熱中症のリスクを増大させています。本演習では、熱中症予防のための対策技術と理論を、暑熱環境 (ストレス) と暑熱負担 (ストレイン) の評価、暑熱低減手法、熱中症リスク修飾要因としての生活行動・生活習慣・健康状態等の観点から、多角的に実験あるいは事例研究・文献調査を通して習得します。得られた知見を踏まえて、猛暑環境においても安全に健康に生活するための今後の健康教育のあり方と課題を考察します。演習課題のキーワードとして、暑熱ストレス指標 (WBGT, PHS, UTCI) 、暑熱ストレイン指標 (核心温、皮膚温、発汗反応、循環反応、主観反応) の非侵襲モニタリング、暑熱耐性の個人差とハイリスクグループ、防暑冷却手法と装備、水分等の飲料摂取等がありますが、具体的な調査研究内容と進め方は、相談の上決める予定です。</p>			
0 4	志手 和行		
<p>この授業のテーマは、「英語コミュニケーション能力」である。当能力は小・中・高の 10 年間を通して学校教育で養成することが期待される。特に、2020 年度から外国語活動が小学校中学年で実施、高学年では外国語科が教科化されており、当能力の重要性が益々高まっていくこととなる。本授業ではこの現状を踏まえ、英語によるコミュニケーションの場を実際に設け、実践しながら当能力の理論的な基礎事項を取り扱う。併せて、コミュニケーション能力養成のための教材作成や授業実践にも繋げられるようしていく。英語を「学ぶ」「教える」双方の立場でこの能力を捉えられるようにし、小・中・高の英語教育現場で実際に活用できるよう目指す。</p>			

05	金 龍哲
<p>課題：文化多様性の保全に寄与する教育の在り方を考える</p> <p>ユネスコの文化的多様性に関する世界宣言は、生物における種の多様性が「自然にとって不可欠」であるのと同様に、文化の多様性は「人類にとって不可欠」としています。文化の多様性は、決して自然に形成されたものだけではなく、異なる文化集団が自らのアイデンティティを維持しつつ、互いを受け入れ、違いを尊重しながら共に生きてきた結果でもあります。</p> <p>今日、ダイバーシティ（diversity）は、もはや共生社会を生きる次世代を育むうえで欠くことの出来ない重要な概念となっています。事実、学校現場では地域の伝統や文化を保護し伝承するための様々な教育実践が展開されています。本演習では、こうした教育実践に焦点をあて、情報収集や実地調査等を体験しながら、①研究テーマの設定、研究方法の設計、論文作成等、研究に関する基礎知識を身に着けること、②興味ある事象について探求することの楽しさを体感すること、を目指します。</p>	
06	沼澤 清一
<p>「授業」は、児童の実態に合わせて教師の教材研究のもとに行われます。ところが、同じように教材研究を行っても、同じ授業にならないところに奥深さがあります。本演習では、「小学校での授業（主に、生活科・社会・算数・国語）」の実際をもとに教材研究の仕方、教材の捉え方、指導方法等について具体的に追究していきたいと思えます。そのため、本演習は、小学校教諭を目指し全力で取り組む学生を主とします。</p> <p>希望される方は、事前にお話をしてお話をして確認したいと思えますので、沼澤まで連絡をください。</p>	
07	野口 芙美
<p>「ことば」に関する調査研究</p> <p>本演習では、「ことば」に焦点を当てた調査・研究を行います。どのような媒体あるいは場面でのどのような語彙や表現が使用されているか、どのようなファクターがことばの違いに影響するのかなどについて考察します。興味・関心に応じてテーマを決め、研究対象を選んで調査・分析を行います。調査対象は自然会話、テレビ、ラジオ、電話、講演等の話しことば、メール、twitter や LINE のような SNS、小説等の書きことばなどあらゆる言語活動です。教室談話や学級通信、教科書をはじめとした教材も研究対象に含まれます。演習は年間を通じて実施予定で、成果は最低2回の修正を経てレポートとして提出してもらいます。希望者は、テーマを決めた上で（後から変わっても構いません）事前にメール等でご相談ください。</p>	
08	深沢和彦
<p>本演習のテーマは「学級集団づくり・学級経営」です。日本の学校教育は、学級集団を基礎単位として教育活動が展開されるため、教育成果は学級状態の良し悪しに大きく左右されます。最初に、あらゆる教育活動のベースとなる学級集団づくり・学級経営について、学級集団アセスメントツール QU による集団育成の理論を中心に学びます。演習では、各自が設定した学級経営に関するテーマに沿って文献研究を中心に研究を進め、発表資料としてまとめます。メンバー同士の発表を基に、相互に意見を交換し合いながら、学校現場での具体的な教育活動の展開を考えていきます。（通年で15回の授業を予定しています）</p>	
09	八重樫節子
<p>深刻化する心身の健康問題及び社会問題としても大きく捉えられている未成年 による自殺者の増加。今コロナ禍において、成長発達途上にいる子ども達一人ひとりにとっての学校、家庭、地域、社会において起こっている中での子ども達の 不安は見えづらく本人にとっても大きく苦しい状況下にあるといえます。</p> <p>日々安定した生活（学習）環境が確保されるための学校の責任、役割は急務といえます。学校、家庭、地域、他機関連携等を図る中で、日々の生活において子ども一人ひとりの心の安定、成長支援を支える養護教諭の役割は非常に大きいといえます。</p> <p>子どもの心身の健康課題を中心に各自課題を決め、それに向けてのディスカッションや演習を行い、各自の見識を深め自ら実践的に学びを深めていく授業であり、教育実践に役立てる具体的提言を導き出すことを目的としています。</p> <p>受講者に関しては、養護教諭免許状取得予定者であることが望ましいです。</p>	
10	柳本 雄次
<p>特別支援教育は今日、障害のある児童生徒に対する特別な場における専門的教育から、特別な教育的ニーズに対応する インクルーシブ教育システムの構築を目指し変化しています。こうした中で特別支援教育も理論的な研究から、教育現場における実践的な研究に至るまでその目的や方法は多様化しています。本演習では各自がテーマを決め、ときには皆でディスカッションを通して研究を深めていくことを目指しています。特別支援教育に関心を持ち、自らの研究課題に主体的に取り組む学生を歓迎いたします。希望があれば特別支援学校教員試験対策の時間や関係機関(学校・施設)の見学等も予定します。</p>	
11	ロペス・ルイス・ミゲル
<p>まず、テーマの種類は、次の A か B のどちらかを選択してもらおう。授業形態はセミナーである。</p> <p>A) ネット上は、ネットワーク技術とデータベース技術を組み合わせて構成されたサービスが多く存在している、BBS、チャットサイト、ミニブログ（例：Twitter）、動画共有サイト（例：Youtube）、IP 電話アプリ、ゲーム等はその例である。上記のようなサービスの仕組、または利用状況、または社会的影響などについて、興味あるテーマを選択し、調査してまとめる。</p> <p>B) Java 等のプログラム言語を使って、通常 PC や Android 等で動く簡単なアプリケーションを開発する（ただし、選択 B は事実上、十分なプログラミングの知識が必要なので、プロジェクトは相談の上決定したい）。</p> <p>面接を行うので、本科目を選択したい学生はオフィスアワーを確認の上研究室にくるか、lopez@ed.tokyo-fukushi.ac.jp へメールするかにしてください。</p>	